

音声自動再生ユニット

VGS-830

VGS-830G

取扱説明書

お買いあげいただきましてありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
また、この取扱説明書は大切に保管してください。
本機は日本国内専用のモデルですので、国外で使用することはできません。

株式会社 JVCケンウッド山形

JVCKENWOOD Yamagata Corporation

©B5A-0997-00

目次

安全上のご注意	4
---------------	---

ご使用の前に

本機の特長	6
VGS-830 と VGS-830G の違いについて	6
防塵性能について	6
ご使用上の注意	7
本機の付属品	7
本体の準備	8
電源と機器の接続	9
本機を壁に取り付ける	10

各部の名称と機能

各部の名称と機能説明	11
操作部の機能説明	12
表示部のアイコン説明	13
各キーの動作図	14

基本的な使い方

電源の ON/OFF	15
スピーカーの音量調節	15
チャンネルの切り替え	15
簡易メニュー	16
グループ番号の設定	16
ボイススクランブル機能の設定	17
メッセージメニュー	18
メッセージメニューの操作	18
メッセージの録音	18
メッセージの確認	19
メッセージの消去	19

基本的な通報のしくみ	20
メッセージをリピート再生する	21
再生を予告する	21
同じ通報を繰り返す	22
通報を優先させる	22
優先ポートの再生を予告する	23
送信時間を制限する	24
さまざまな使い方	25
押しボタンからの通報	25
グループ優先の通報 (VGS-830G のみ)	26
スピーカーマイクロホンで通話する	27

各種設定

パワーオンメニュー	28
パワーオンメニューの操作	28
無線メニューの設定項目一覧	29
機能メニューの設定項目一覧	29
接点メニューの設定項目一覧	29
運用モードの設定	30
モニター	31
キーロック	31
表示に関する設定	32
バックライト設定	32
チャンネル非表示設定	32
音に関する設定	33
ビープ音設定	33
スケルチレベル設定	33
スピーカー出力タイプ設定	34
送信に関する設定	35
コンパンダー設定	35
送信パワー設定	35

接点メニュー	36
再生開始待ち時間設定	36
繰り返し再生回数設定	36
入力継続判定時間設定	37
重複入力許可設定	37
通知トーン設定	38
優先ポート設定	38
優先通知トーン設定	39
連続送信時間設定	39
送信中断時間設定	40
ランダムアクセス送信設定	40

その他

オプションについて	41
関連製品について	41
故障かな？と思ったら	42
共通	42
中継器を使用している場合	44
機能リセット	44
メッセージリセット	45
オールリセット	45
仕様	46
定格	46
寸法図 (VGS-830)	47
寸法図 (VGS-830G)	47

商標および登録商標について

・本文中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

説明上の注釈表記について



このマークが付いた注釈は、使用上での注意事項が記載されています。



このマークが付いた注釈は、使用上での補足事項が記載されています。

安全上のご注意

絵表示について

この「安全上のご注意」には、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。ご使用の際には、次の内容(表示と意味)をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

-  **危険** この表示を無視して誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
-  **警告** この表示を無視して誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
-  **注意** この表示を無視して誤った取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

-  △記号は、注意(危険・警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。図の近くに具体的な注意内容を示しています。
-  ⊘記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)を示しています。
-  ●記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中や近くに具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをACコンセントから抜け)を示しています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合、またはこの製品の使用によって受けられた損害につきましては、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

危険

使用環境・条件

-  引火、爆発の恐れがありますので、プロパンガス、ガスリン等の可燃性ガスの発生するような場所では使用しないでください。

警告

使用環境・条件

-  電子機器(特に医療機器)の近くでは使用しないでください。電波障害により機器の故障・誤動作の原因となります。
-  空港施設、鉄道施設、港湾、病院などの管理区域に指定されている場所での無線機器の使用については、各施設管理者にお問い合わせ、ご確認の上でご使用ください。
-  本機を使用できるのは、日本国内のみです。国外では使用できません。

ACアダプターの取扱について

-  AC100V以外の電圧で使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
-  タコ足配線はしないでください。過熱・発火の原因となります。
-  濡れた手で電源プラグに触れたり、電源コードを抜き差ししないでください。感電の原因となります。
-  電源プラグはACコンセントに確実に差し込んでください。電源プラグの端子に金属などが触れると、火災・感電・故障の原因となります。
-  電源プラグの端子にほりりが付着したまま使用しないでください。ショートや過熱により火災や感電の原因になります。

使用方法について

-  機械に巻き込まれる恐れのある場所では、スピーカー・マイクロホン等のケーブルを首にかけないでください。怪我の原因となります。
-  本機に水が入らないようにご注意ください。火災・感電・故障の原因となります。
-  水などで濡れやすい場所（風呂場など）では使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
-  本機の近くに小さな金属物や水などの入った容器を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電・故障の原因となります。
-  本機は調整済みです。分解・改造して使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。

異常時の処置について

-  内部に水や異物が入った場合や、落したり、ケースを破損した場合、または異常な音が出たり、煙が出たり、変な臭いがするなどの、異常な状態になった場合は、そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。
-  落下などにより破損した部品には直接触らないでください。けがの原因となります。
-  煙が出たら、すぐに電源を切り、電源プラグをACコンセントから抜き、煙が出なくなるのを確認してから、お買い上げの販売店にご連絡ください。
-  雷が鳴り出したら、安全のため早めに電源を切り、電源プラグをACコンセントから抜いて、ご使用をおひかえください。

保守・点検

-  内部の点検・修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。お客様による修理は、危険ですから絶対におやめください。

注意

使用環境・条件

-  テレビやラジオの近くで使用しないでください。電波障害を与えたり、受けたりすることがあります。
-  直射日光が当たる場所や車のヒーターの吹き出し口など、異常に温度が高くなる場所には置かないでください。内部の温度が上がり、ケースや部品が変形・変色したり、火災の原因となることがあります。
-  湿気の多い場所、ほこりの多い場所、風通しの悪い場所には置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。
-  ぐらついた台の上や傾いた所、振動の多い場所には置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
-  調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所には置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。

使用方法について

-  水滴が付いたら、乾いた布でふき取ってください。汚れのひどいときは、水で薄めた中性洗剤をご使用ください。シンナーやベンジンは使用しないでください。

ご使用の前に

本機の特長

- 本機は特定小電力無線ユニット (TCB-U830TR) と組み合わせることにより、特定小電力トランシーバーに録音メッセージを通報できる音声自動再生ユニットです。指定された入力端子に信号が入ると自動的に音声を通報することが可能で、本体には録音機能を搭載しており、1台のユニットに最大 30 件のメッセージを録音することができます。(VGS-830 は最大 10 件まで。)
- 本機にオプションのスピーカーマイクロホン (SMC-34) を接続することにより、特定小電力トランシーバーと通話することができ、通信には 2 つの運用モードがあります。

● 交互通話モード (シンプレックス)

直接トランシーバー同士で通信するモードです。

20 チャンネルに対応し、従来の 9 チャンネルと 11 チャンネルのどちらも使用できます。

● 中継器アクセスモード (セミデュプレックス)

別売品の中継器を介して通信するモードです。安定して通信できる範囲が広がります。

27 チャンネルに対応し、従来の 9 チャンネルと 18 チャンネルのどちらも使用できます。

VGS-830 と VGS-830G の違いについて

- VGS-830 と VGS-830G では、録音できるメッセージ件数が異なります。

機種	入力ポート数	録音件数
VGS-830	10 ポート	10 件
VGS-830G	30 ポート	30 件

- VGS-830G では、グループ番号での優先ポートを設定することができます。

機種	優先ポート
VGS-830	ポート No. 1 のみ
VGS-830G	ポート No. 1、またはグループ

※ グループ優先ポートの詳細内容については《p.26》および《p.38》を参照してください。

防塵性能について

- 本製品は設計段階において該当する防塵性能の社内試験をおこない、その性能を確認しておりますが、実際の使用においては下記の条件や注意事項をお守りください。

- 本機単体は IP-5X 相当の防塵性能を備えていますが、実際のご使用にあたって、全ての状況で防塵を保証するものではありません。
- 通常の使用状態で IP-5X 相当の防塵性能が維持できる期間は 1 年です。
 - ※ SP/MIC 端子カバー、当社推奨ケーブルグラウンド (オーム電機製: OA-W16) 装着時のみ防塵性能を維持します。
 - ※ 防塵性能維持のための特別なメンテナンスプログラムは用意してございません。
- SP/MIC 端子カバーやケーブルグラウンドは確実に取り付けてから固定してください。また、取り付ける際には、微細なゴミ (微細な繊維、髪の毛、砂など) を挟んでいないか、ご確認ください。
- 本機に衝撃を与えた場合は、防塵性能に影響を与える場合があります。

● IP-5X 相当

防塵試験用粉塵 (直径 75 μ m 以下) が入ったとしても所定の動作および安全性を損なわないように保護されていることを意味します。

ご使用上の注意

- 本機の接点入力端子は、COM ポートとの短絡動作で ON/OFF するため、外部からの電圧は絶対にかけないでください。
- 本機は無電圧 a 接点 / オープンコレクタ対応の接点入力機器に対応しています。
- 本機に防水性能はありません。水などで濡れやすい場所には設置しないでください。
- 本機の運用には、別売の特定小電力無線ユニット (TCB-U830TR) が必要です。
- 中継器アクセスモードで使用するには、別売の中継器をお買い求めください。
- 出荷時はメッセージが録音されていません。本機にメッセージを録音する際は、弊社が推奨する市販の録音用マイクをお買い求めください。推奨以外の製品を使用すると、正常に動作しない場合があります。
- **弊社推奨録音用マイク (動作確認済み)**
 - ・ BUFFALO 製 スタンドマイクロフォン : BSHSM06WH
 - ・ ELECOM 製 ノートパソコン用マイクロフォン : MS-STM95
- 本機でトランシーバーと通話を行う場合は、別売のスピーカーマイクロホン (SMC-34) をお買い求めください。
- 通話用のスピーカーマイクロホン (SMC-34) でメッセージを録音することはできません。
- 本機に接続ケーブルは付属していません。設置する際は市販の接続ケーブルをお買い求めください。
- 本機の IN/OUT 端子にネットワーク回線機器は接続しないでください。
- AC アダプターは、付属のもの以外は使用しないでください。
- クリップやホチキスの針などの金属片が装置の中に入らないようにしてください。
- 激しい振動がある環境では使用しないでください。

本機の付属品

付属品がすべて揃っていることをご確認ください。

・ AC アダプター	1
・ 壁固定具 (取付ネジ付属)	4
・ 壁用取付ネジ (鉄板用)	4
・ ケーブルクランプ (取付ネジ付属) ※	2
・ 保証書	1
・ 取扱説明書 (本書)	1

※ VGS-830G のみ 3 個付属です。

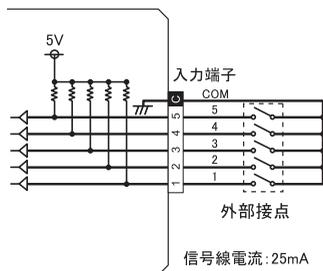
本体の準備

1 接点入力機器を接続する

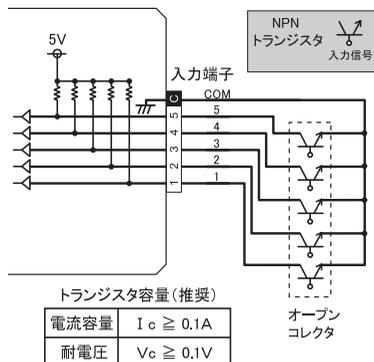
使用するポートの端子台ネジをマイナスドライバーで緩めて電線を差し込んだ後、端子台ネジを締めます。

● 接点入力機器との配線図

＜無電圧 a 接点で駆動する場合＞



＜オープンコレクタで駆動する場合＞



2 無線ユニットを接続する

本機の IN/OUT 端子に、無線ユニットに接続した接続ケーブルを接続します。

3 ACアダプターを接続する

本機の電源接続端子にACアダプターを接続し、電源コンセントにACアダプターを接続します。

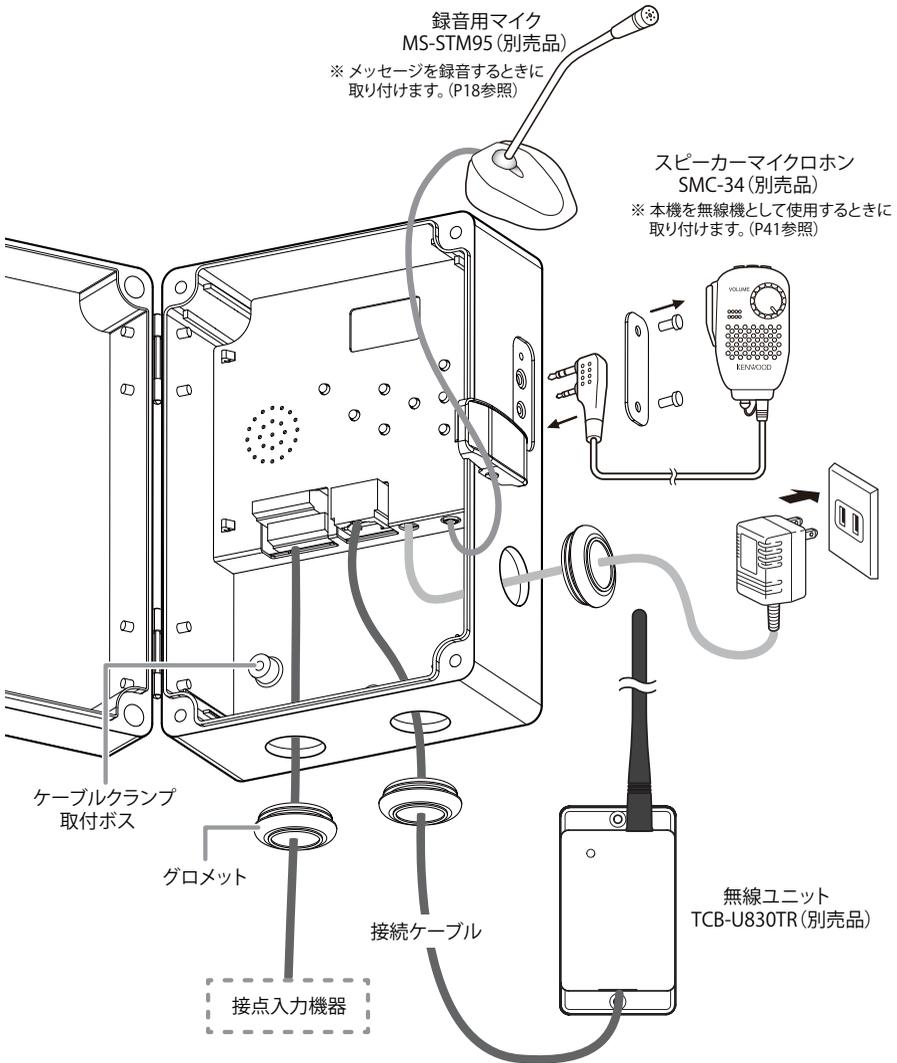
4 ケーブルクランプでケーブルを固定する

付属のケーブルクランプをネジで固定し、本機に接続したケーブルを固定します。



- 本機の接点入力端子は、COM ポートとの短絡動作で ON/OFF するため、外部からの電圧は絶対にかけないでください。
- 本機は無電圧 a 接点 / オープンコレクタ対応の接点入力機器に対応しています。
- 接点入力機器の接続は、必ず本機と接点入力機器の電源を切ってから行ってください。
- 接点入力端子の使用電線は、撚線 0.1288 ~ 1.309mm² (AWG26 ~ 16) 素線径 ϕ 0.18 以上を推奨します。
- 無線ユニットを設置する際は、TCB-U830TR の取扱説明書を参照してください。
- 本体の上には何も載せないでください。
- 本機を水などで濡れやすい場所には設置しないでください。
- 本機の IN/OUT 端子にネットワーク回線機器 (パソコン、ネットワークハブ、IP 電話など) は接続しないでください。
- 本機に接続ケーブルは付属していません。接続する際は市販の接続ケーブルをお買い求めください。
- 接続ケーブルは、CAT5e 以上の LAN ケーブル (UTP/ ストレートタイプ)、内部導体が 24AWG (すずめつき軟銅線 0.08mm × 50 本、220 Ω /km 以下) と同等以上のものを使用してください。
- 本機と無線ユニットを接続する場合、接続ケーブルの長さは 50 m まで使用できます。(性能保証は 10 m まで。)
- 接続ケーブルは、本機を設置してから接続してください。

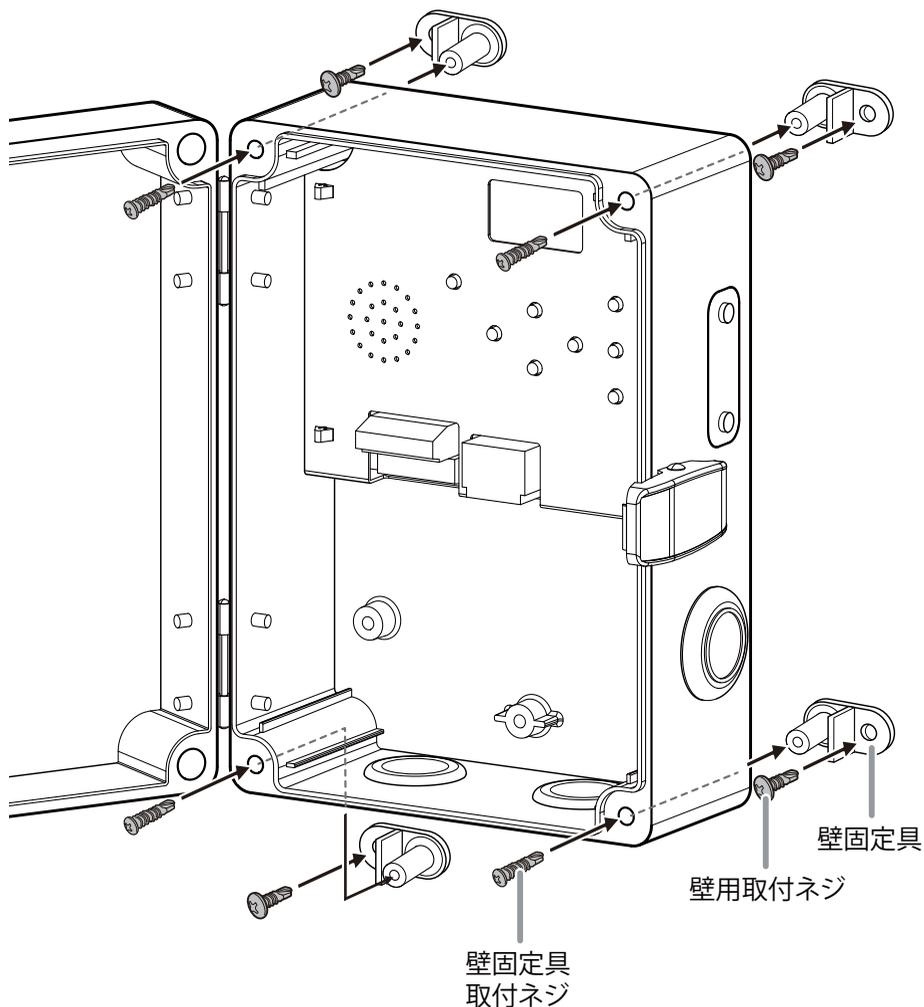
電源と機器の接続



- 各機器を設置する際は、配線を無線ユニットからなるべく離してください。無線ユニットの近くに設置すると、電波の干渉により、通信音声にノイズが入る場合があります。
- 本機を IP-5X で使用する場合は、付属のグロメットを取り外し、別売のケーブルグランド（オーム電機製：OA-W16）を装着し、SP/MIC 端子の保護カバーを取り付けてください。
- AC アダプターは専用の付属品を使用してください。付属のもの以外を使用した場合、火災・感電・故障の原因となることがあります。
- 接点入力端子や IN/OUT 端子が引っ張られたりしないよう、接続後は接続ケーブルをケーブルクランプで固定してください。

本機を壁に取り付ける

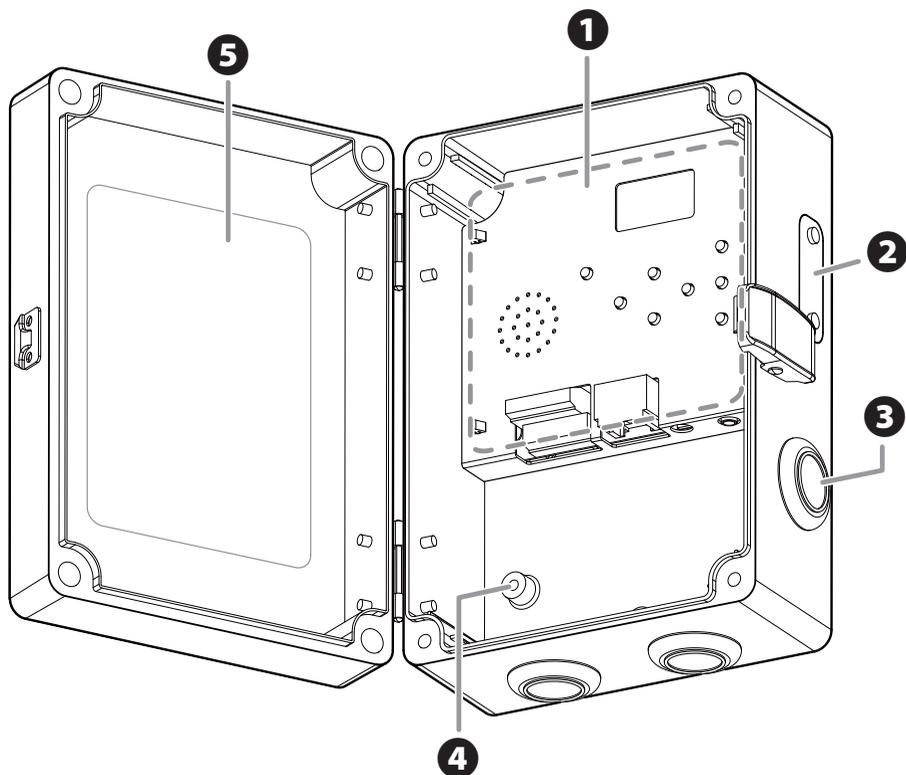
本機を壁に取り付ける場合は、必ず付属の壁固定具を使用し、本体の4箇所をしっかりと壁に固定してください。



● 本機に付属の壁用取付ネジは鉄板用です。その他の材質に設置する場合、材質に合わせたネジをお買い求めください。

各部の名称と機能

各部の名称と機能説明



※図は VGS-830 です。

① 操作部

本機の操作と設定をおこなう操作パネルです。※詳細《p.12》

② SP/MIC端子(保護カバー付)

オプションのスピーカー・マイクロホンを接続する端子です。保護カバーを取り外して接続します。

③ ケーブル取り出し穴(3箇所)

本機の接続端子に接続したケーブルを取り出します。※VGS-830Gは4箇所

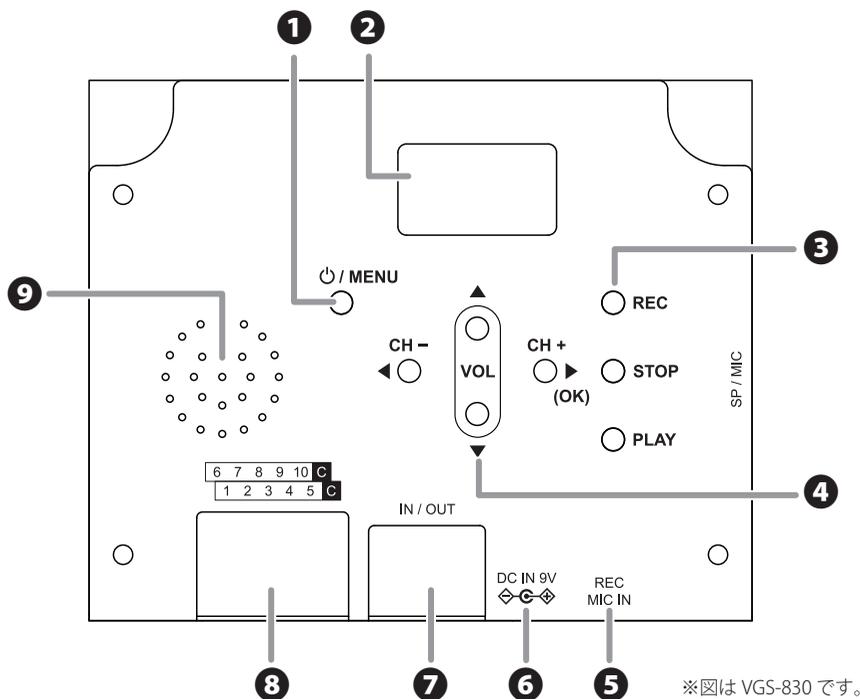
④ ケーブルクランプ取付ボス(3箇所)

本機に接続したケーブル類を固定する穴です。付属のケーブルクランプ取付ネジで固定します。※VGS-830Gは7箇所

⑤ MENU一覧表

設定メニューの一覧を記載しています。

操作部の機能説明



1 【**⏻**】キー

電源のON/OFFとメニューの各種設定を行うときに使用します。

2 表示部

本機の動作を表示します。※詳細《p.13》

3 【REC】【STOP】【PLAY】キー

【REC】：録音するときに使用します。

【STOP】：録音/再生を停止するときに使用します。

【PLAY】：再生するときに使用します

4 【▲】【▼】【◀】【▶】キー

【▲】：音量レベルを大きくするときに使用します。

【▼】：音量レベルを小さくするときに使用します。

【◀】：チャンネル番号がダウンします。

【▶】：チャンネル番号がアップします。

- ・メニューの設定は【▲】【▼】【◀】【▶】を操作しておこないます。

5 録音 MIC 端子

録音用のマイクを接続する端子です。

6 電源接続端子

付属の ACアダプターを接続する端子です。

7 IN/OUT 端子

無線ユニットを接続する端子です。

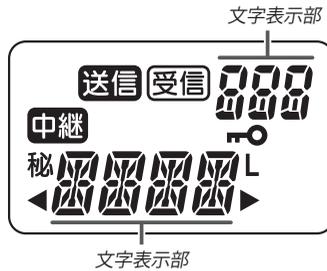
8 接点入力 端子

接点入力機器を接続する端子です。

9 スピーカー

各種操作音、再生確認音声を出力するスピーカーです。

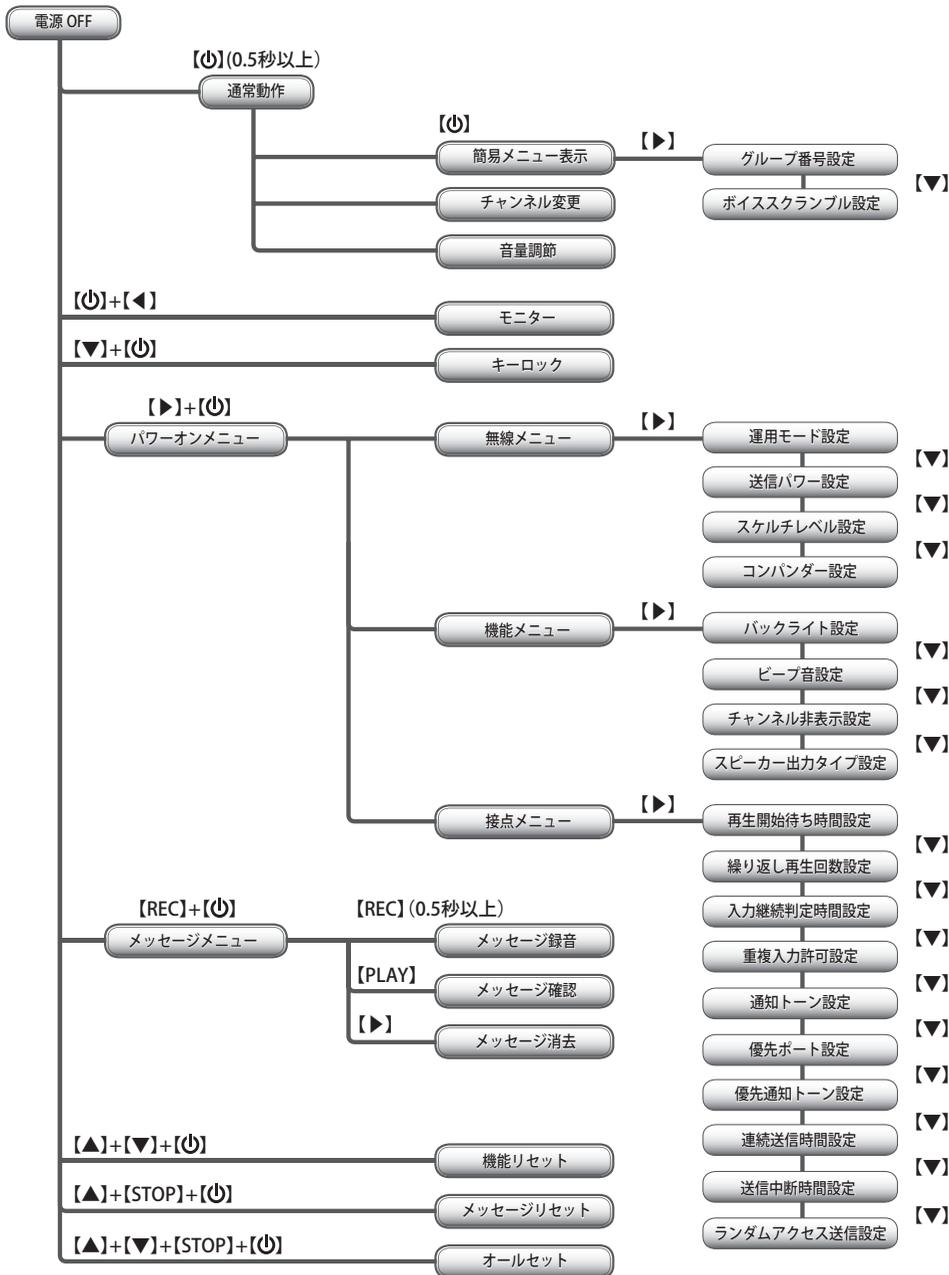
表示部のアイコン説明



表示	説明
送信	送信中に表示します。
受信	受信中に表示します。
中継	運用モードが中継器アクセスモードに設定されているときに表示します。
秘	ボイススクランブル機能が ON に設定されているときに表示します。
🔑	キーロック機能が ON に設定されているときに表示します。
L	ローパワー送信に設定されているときに表示します。
◀	設定画面で【◀】キーが有効なときに表示します。
▶	設定画面で【▶】キーが有効なときに表示します。

各キーの動作図

電源が OFF の状態から各キーを操作したときの動作です。

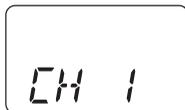


基本的な使い方

電源の ON/OFF

1 【**⏻**】を押す (0.5秒以上)

電源が ON になり、チャンネル番号が表示されます。

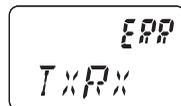


2 【**⏻**】を押す (1秒以上)

電源が OFF になり、表示が消えます。



- 無線ユニットを接続していない状態で電源を入れた場合、表示部が図のようなエラー表示になります。

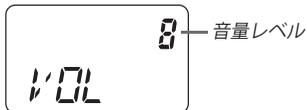


基本的な使い方

スピーカーの音量調節

1 【**▲**】を押す

音量が大きくなります。



- 【**▲**】を押し続けると、押している間連続して音量が大きくなります。

2 【**▼**】を押す

音量が小さくなります。

- 【**▼**】を押し続けると、押している間連続して音量が小さくなります。
- 初期の音量は「7」に設定されています。(最小音量レベル：0、最大音量レベル：15)



- 本機から送信するメッセージの通報音量の変更はできません。

チャンネルの切り替え

設定されている運用モードにより下記のチャンネル番号が選択できます。

運用モード	設定範囲
交互通話モード	CH1～CH11、CHh1～CHh9
中継器アクセスモード	CH1～CH18、CHh1～CHh9

1 【**◀**】を押す

チャンネル番号が下がります。



- 【**◀**】を押し続けると、押している間連続してチャンネル番号が下がります。

2 【**▶**】を押す

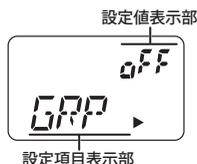
チャンネル番号が上がります。

- 【**▶**】を押し続けると、押している間連続してチャンネル番号が上がります。

簡易メニュー

簡易メニューでは、グループ番号の設定とボイススクランブル機能の設定ができます。

設定項目	設定項目表示	設定値	初期値
グループ番号設定	GRP	交互通話モード時：oFF, 1 ~ 38, 101 ~ 183 中継器アクセスモード時：oFF, 1 ~ 38	oFF
ボイススクランブル設定	SCR	oFF / on	oFF



- 簡易メニュー起動時の設定項目は、前回設定を行った項目から開始します。

グループ番号の設定

他のグループと同じチャンネルで交信している場合、お互いの声が混ざり合って通信しづらくなります。仲間どうしでグループ番号を設定しておくこと、混信がなくなって快適に通話ができます。

1 【**⏻**】を押す

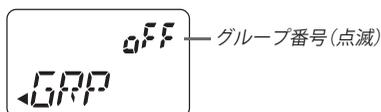
簡易メニューモードになります。

2 【**▲**】または【**▼**】を押して「GRP」を選ぶ



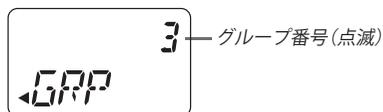
3 【**▶**】を押す

グループ番号が点滅します。



4 【**▲**】または【**▼**】を押す

グループ番号が切り替わります。



5 【**▶**】を押す

選択したグループ番号を確定して、手順2の設定項目選択画面に戻ります。

- 【**◀**】を押すと選択した設定値は確定しないで、手順2の設定項目選択画面になります。

6 【**⏻**】を押す

または10秒間何もキーを操作しないと、簡易メニューが終了します。

ボイススクランブル機能の設定

グループ番号を設定すると、ボイススクランブル機能が使用できます。ボイススクランブル機能をONに設定していないトランシーバーでは会話が聞き取れなくなります。

1 【**⏻**】を押す

簡易メニューモードになります。

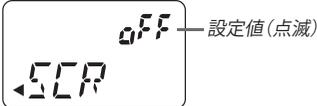
2 グループ番号を設定しておく

3 【**▲**】または【**▼**】を押して「SCR」を選ぶ



4 【**▶**】を押す

設定値が点滅します。



5 【**▲**】または【**▼**】を押す

設定値を選択します。

設定	動作
oFF	ボイススクランブル機能をOFFします。
on	ボイススクランブル機能をONします。

「on」に設定すると「秘」が点灯します。



6 【**▶**】を押す

選択した設定を確定して、手順3の設定項目選択画面に戻ります。

- 【**◀**】を押すと選択した設定値は確定しないで、手順3の設定項目選択画面になります。

7 【**⏻**】を押す

または10秒間何もキーを操作しないと、簡易メニューが終了します。

- ボイススクランブル設定をする前に、グループ番号を設定しておいてください。グループ番号を設定しないと、ボイススクランブル設定は表示されません。
- グループ番号をOFFにすると、ボイススクランブル設定もOFFになります。
- 運用モードが中継器アクセスモードに設定されているときは、チャンネル番号とグループ番号は中継器の設定と同じにしてください。
- チャンネル番号、グループ番号、ボイススクランブルの設定は送信側と受信側の設定を合わせてください。全ての設定が合っていないと送受信ができません。
- グループ番号とボイススクランブル設定が一致した場合、第三者でも通信を傍受できます。

メッセージメニュー

メッセージメニューは本機にメッセージを録音する機能です。VGS-830は10件、VGS-830Gは30件、1件あたり最大15秒のメッセージを録音できます。メッセージメニューは下記のカテゴリーに分かれています。

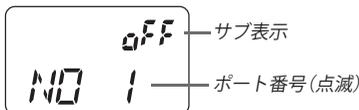
表示	メニューカテゴリー	内容
REC	メッセージ録音	本機にメッセージを録音するメニューです。
PLAY	メッセージ確認	本機に録音したメッセージを再生確認するメニューです。
DEL	メッセージ消去	本機に録音したメッセージを消去するメニューです。

メッセージメニューの操作

1 **【ON】**を押し、一度電源をOFFにする

2 **【REC】**を押しながら**【ON】**を押し、電源をONする

ポート番号が表示されます。



3 **【▲】**または**【▼】**を押す

ポート番号が切り替わります。操作したいポート番号を選択します。



- メッセージが録音されているポート番号を選択した場合は、サブ表示に「on」が表示されます。
- 【ON】**を押すとメッセージメニューが終了します。

メッセージの録音

本機に録音用マイクを接続し、メッセージを録音します。※ 弊社推奨録音用マイク（BUFFALO 製スタンドマイクロフォン：BSHSM06WH、ELECOM 製ノートパソコン用マイクロフォン：MS-STM95）

1 メッセージメニューでポート番号を選択する

2 録音用マイクを接続する

3 **【REC】**を押す(0.5秒以上)

録音開始のカウントダウンが開始します。

- 3秒前から表示します。



4 マイクに向かって話す



5 **【STOP】**を押す

録音を終了します。



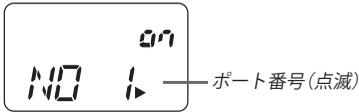
- すでに録音データがあるポート番号を選択した場合は、**【REC】**を押しても録音が始まりません。
- 録音をやり直す場合はメッセージを消去してください。《「メッセージの消去」p.19》
- メッセージ録音中に15秒経過した場合は、自動的に録音を終了します。
- 録音用マイクを接続しない状態で録音開始した場合は、表示部が右図のようなエラー表示になります。



メッセージの確認

本機に録音したメッセージを再生確認することができます。

- 1 メッセージメニューでポート番号を選択する



- 2 【PLAY】を押す

メッセージが再生されます。



- 3 【STOP】を押す

再生が止まります。

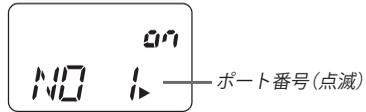


-  ●メッセージが録音されていないポート番号を選択した場合は、【PLAY】を押しても再生が開始されません。
- メッセージメニューでは再生音量の変更はできません。あらかじめ本機の音量を調節しておいてください。《「音量の調節」p.15》

メッセージの消去

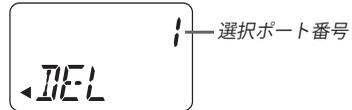
本機に録音したメッセージを消去することができます。

- 1 メッセージメニューでポート番号を選択する



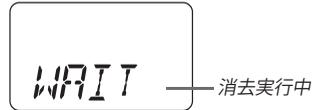
- 2 【▶】を押す

消去確認状態になります。



- 3 【▶】を押す

メッセージが消去されます。

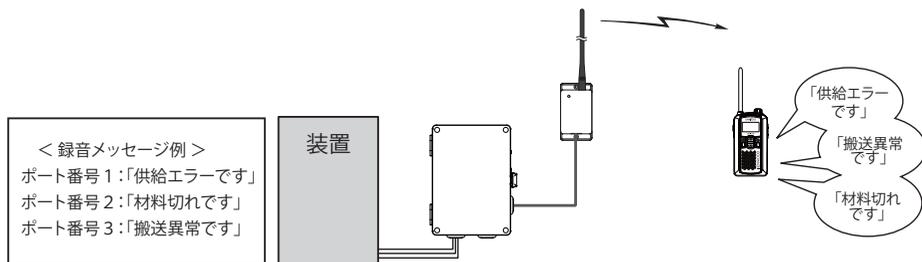


-  ●メッセージが録音されていないポート番号を選択した場合は、消去動作が開始されません。
- 消去確認状態で【◀】を押すと、消去をキャンセルします。

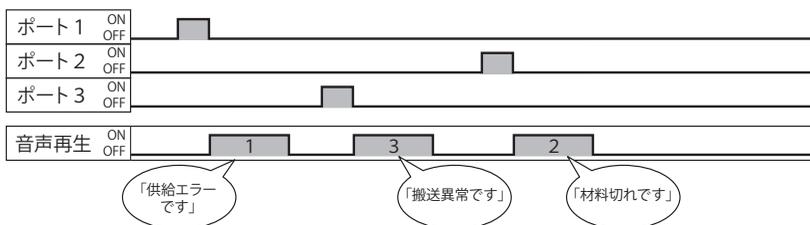
-  ●ポート番号は接点入力端子の番号《p.12》に対応しています。
- 本機にメッセージを録音する際は、録音用マイクとの距離を約5cm程度にして話してください。再生確認で聞き取りにくい場合は、メッセージの録音をやり直してください。
- 録音メッセージは、あらかじめ使用するトランシーバーで通報テストすることをおすすめします。トランシーバーの通話音量とメッセージの再生音量に差がある場合は、メッセージの録音をやり直してください。

基本的な通報のしくみ

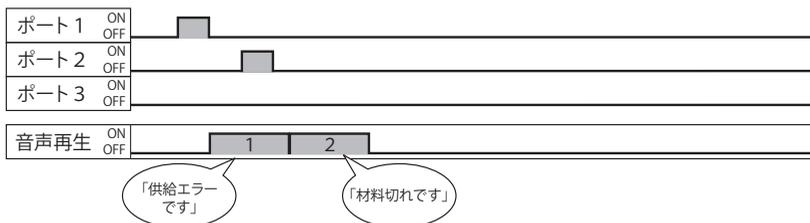
本機は1～10ポート（VGS-830Gは1～30ポート）とCOMポートが短絡動作することによって通報ができます。この短絡動作の入力形式によって、さまざまな通報ができます。機器に接続する前に、あらかじめ本機にメッセージを録音する必要があります。《「メッセージの録音」p.18》



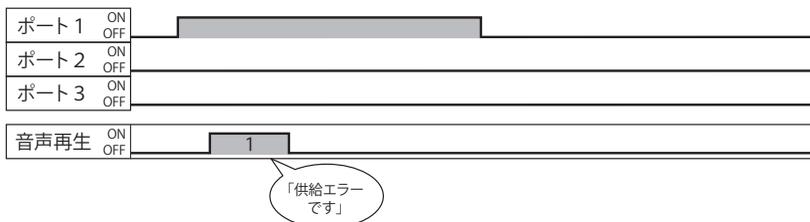
- 入力の早いポートからメッセージ再生されます。



- メッセージ再生中の入力は記憶して再生されます。



- 入力が保持している場合。

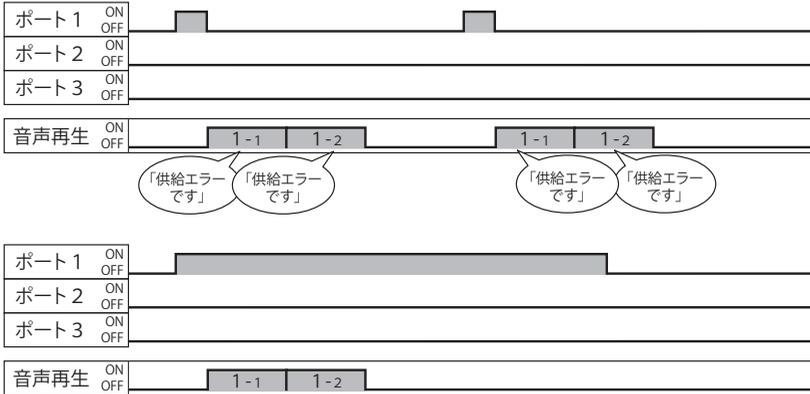


- 音声再生中の入力は、32件まで記憶できます。

メッセージをリピート再生する

同じメッセージを繰り返し再生して、通報を聞き逃さないようにする機能です。設定した回数、メッセージをリピートします。《「繰り返し再生回数設定」p.36》

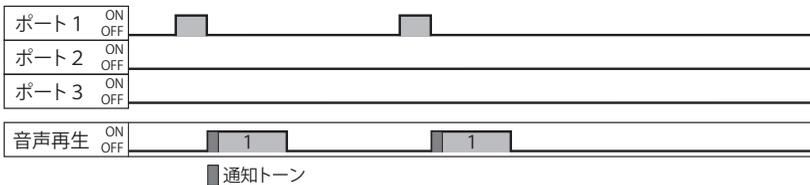
- 繰り返し再生回数設定を「1」に設定した場合、同じメッセージを1回、繰り返し再生します。



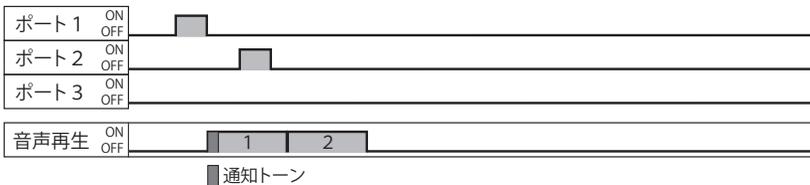
再生を予告する

メッセージ再生の前にトーンを鳴らして通報を知らせる機能です。トーンを設定すると、メッセージを再生する前に設定した通知トーンが鳴ります。《「通知トーン設定」p.38》

- メッセージ再生の前に通知トーンが鳴ります。



- メッセージ再生中の入力には通知トーンが鳴りません。

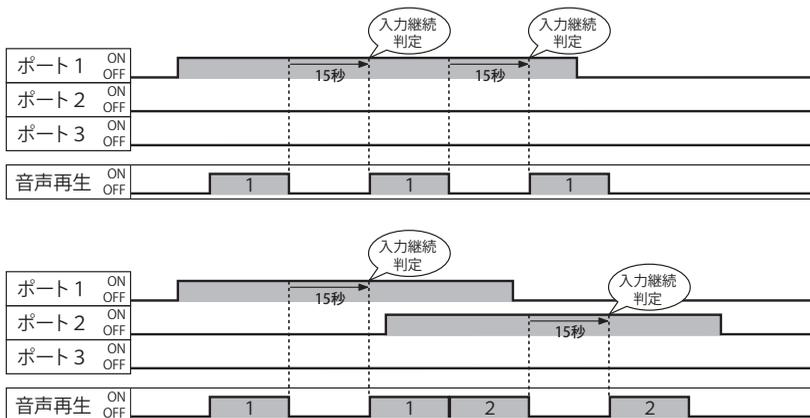


- 繰り返し再生回数設定を《p.36》設定している場合は、再生の頭に1回通知トーンが鳴ります。

同じ通報を繰り返す

継続した接点入力がある場合に、入力を保持していることをチェックする機能です。「15」に設定すると、メッセージ再生終了の15秒後に入力チェックを行います。《「入力継続判定時間設定」p.37》

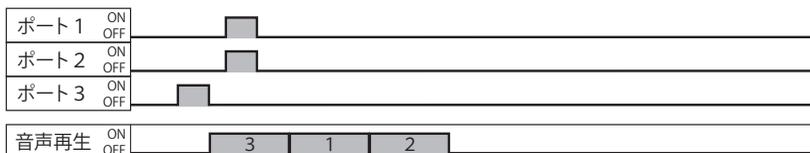
- 入力が保持している場合、設定した間隔を開けて通報されます。



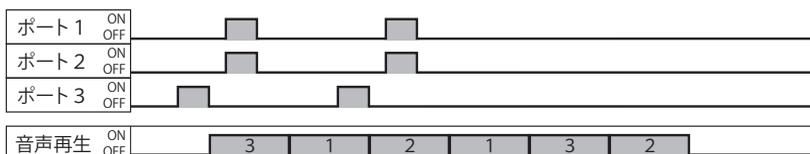
通報を優先させる

優先してメッセージ再生を行うポートを割り当てる機能です。「on」に設定すると、複数のポートに入力があった場合に、再生中メッセージが終了した後、優先ポート（ポートNo.1）のメッセージが再生します。《「優先ポート設定」p.38》

- メッセージ再生中の入力は、ポートNo.1の入力が優先されます。



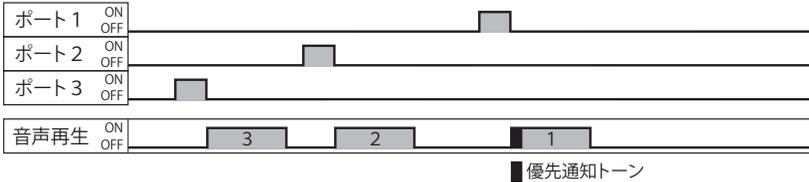
- 再生待ちの入力がある場合、ポートNo.1の入力が優先されます。



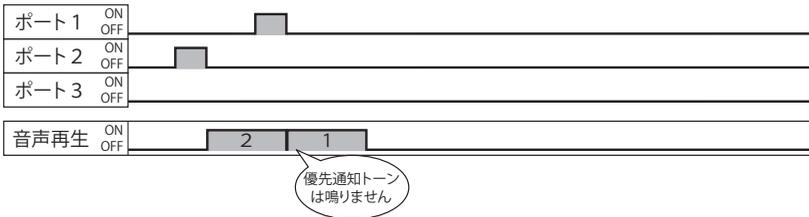
優先ポートの再生を予告する

優先ポートの入力があった場合に通知トーンで知らせる機能です。優先ポートのメッセージを再生する前に、設定した通知トーンが鳴ります。《「優先通知トーン設定」p.39》

- 優先ポートの再生前に通知トーンが鳴ります。



- メッセージ再生中の入力には、優先通知トーンは鳴りません。



- 通知トーンを設定している場合、優先ポート以外も通知トーンが鳴ります。

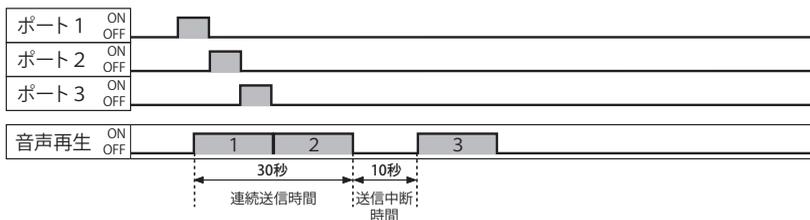


- 優先ポート設定《p.38》が「OFF」に設定されている場合、優先通知トーンは鳴りません。
- 通知トーン設定《p.38》と違うトーンを設定することで、優先通知の識別をすることができます。

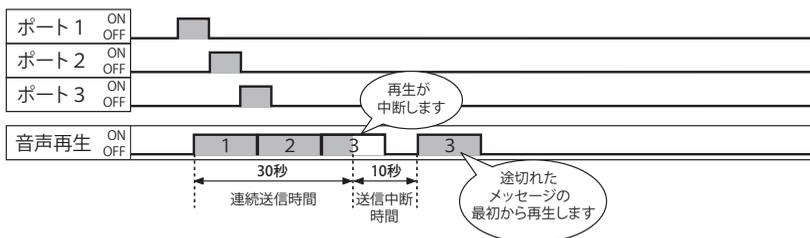
送信時間を制限する

連続送信時間を制限する機能です。「30」に設定すると、30秒間送信した後、送信を中断します。《「連続送信時間設定」p.39》(送信を中断する時間は、送信中断時間設定《p.40》で設定します。)

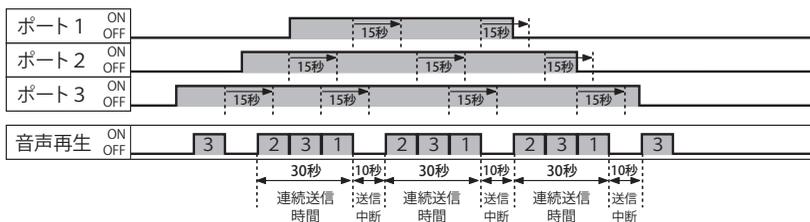
- 連続送信時間中はメッセージが再生し、送信中断時間が経過した後、再生を開始します。



- 再生が途切れた場合、送信中断時間が経過した後、途切れたメッセージを再生します。



- 入力継続判定時間設定《p.37》と組み合わせた場合。

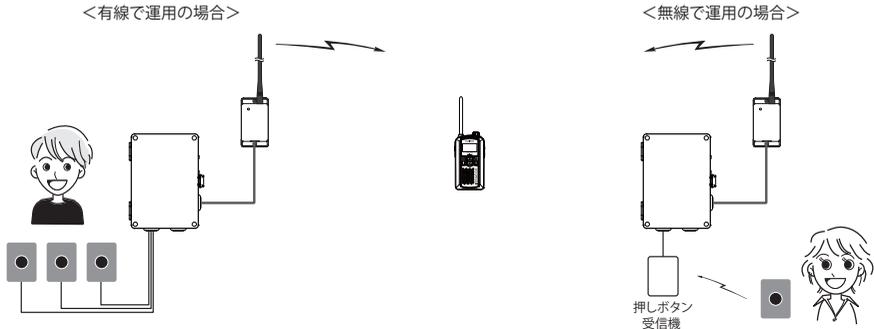


●連続送信時間設定《p.39》を「OFF」に設定している場合は、送信中断時間の設定はできません。

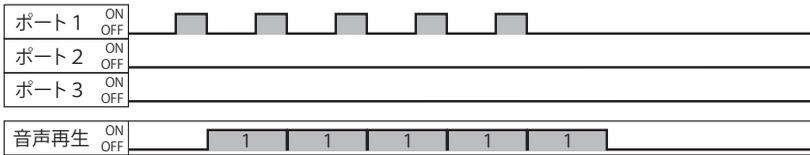
さまざまな使い方

押しボタンからの通報

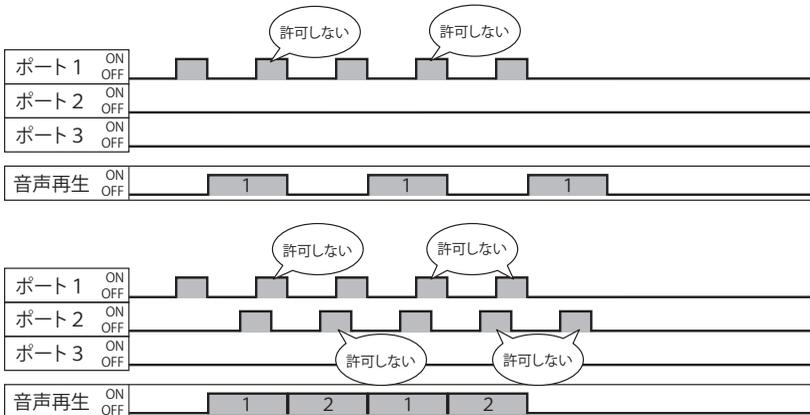
本機に押しボタンを接続することで、ボタン操作による通報ができます。重複入力許可設定《p.37》により、再生中の入力を受け付けるかを選択できます。



- 「on」 に設定すると、再生中の入力を受け付けます。



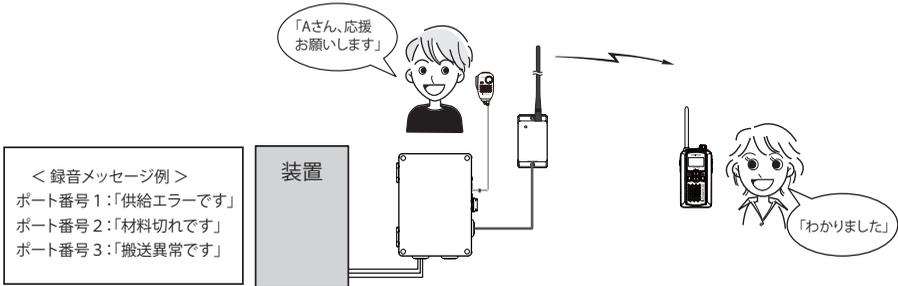
- 「oFF」 に設定すると、再生中の入力は受け付けません。



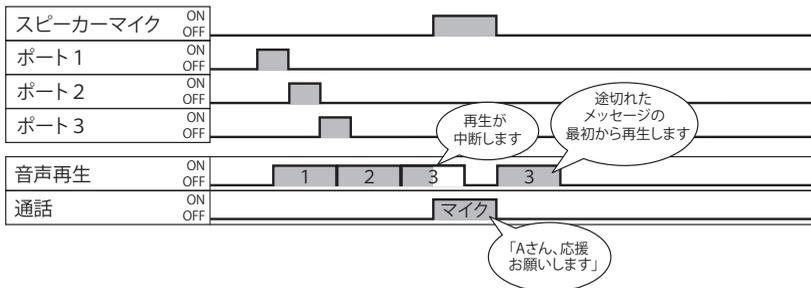
● 再生中でも、他のポートの入力は受け付けます。

スピーカーマイクロホンで通話する

本機にオプションのスピーカーマイクロホンを接続すると、再生側のトランシーバーと通話することができます。スピーカーマイクロホンからの入力は、メッセージの再生中でも通話を割り込ませることができます。



●メッセージの再生中にスピーカーマイクロホンで入力した場合。



- スピーカーマイクロホンの操作方法は、スピーカーマイクロホンの取扱説明書を参照してください。
- スピーカーマイクロホンで割り込みした場合、再生待ちのメッセージがすべて再生終了しないと応答できません。
- スピーカーマイクロホンの通話では、通知トーンは鳴りません。

各種設定

パワーオンメニュー

各機能の設定はパワーオンメニューにておこないます。

パワーオンメニューは下記のカテゴリーに分かれています。

表示	メニューカテゴリー	内容
TXRX	無線メニュー	通信に関する機能を設定するメニューです。
FUNC	機能メニュー	本体の表示・音・送信に関する機能を設定するメニューです。
MSG	接点メニュー	接点入力送信時の各機能を設定するメニューです。

パワーオンメニューの操作

- 1 **【⏻】**を押し、一度電源をOFFにする
- 2 **【▶】**を押しながら**【⏻】**を押し、電源をONする
メニューのカテゴリー選択画面が表示されます。



- 3 **【▲】**または**【▼】**を押す
カテゴリーが切り替わります。
設定したいカテゴリーを選択します。



- 4 **【⏻】**を押す
パワーオンメニューモードが終了します。



- パワーオンメニュー起動時のメニューカテゴリーは、前回設定を行ったメニューから開始します。
- 各メニューカテゴリー起動時の設定項目は、前回設定を行った項目から開始します。

各カテゴリの設定項目一覧

無線メニュー (TXRX)



表示	設定項目	設定値	初期値	参照ページ
MODE	運用モード設定	SP/SdP	SP	30
TXPW	送信パワー設定	L/H	H	35
SQL	スケルチレベル設定	oFF/1/2/3	2	33
CMPD	コンパンダー設定	oFF/on	oFF	35

機能メニュー (FUNC)



表示	設定項目	設定値	初期値	参照ページ
BLIT	バックライト設定	oFF/ACt/on	ACt	32
BEEP	ビーブ音設定	oFF/on	on	33
CH---	チャンネル非表示設定	oFF/on	oFF	32
SPK	スピーカー出力タイプ設定	ALL/ACt	ALL	34

接点メニュー (MSG)



表示	設定項目	設定値	初期値	参照ページ
WAIT	再生開始待ち時間設定	L/m/H	L	36
REPT	繰り返し再生回数設定	oFF/1/2/3/4	oFF	36
CONT	入力継続判定時間設定	oFF/15/30/60/90	oFF	37
OVLP	重複入力許可設定	oFF/on	on	37
NTON	通知トーン設定	oFF/1/2/3/4/5/6	oFF	38
PRI	優先ポート設定	oFF/on/GRP	oFF	38
PTON	優先通知トーン設定	oFF/1/2/3/4/5/6	oFF	39
T-TM	連続送信時間設定	oFF/30/60/90/120	oFF	39
TM-R	送信中断時間設定	5/10/30/60	10	40
RAND	ランダムアクセス送信設定	oFF/on	oFF	40

運用モードの設定

本機は2つの運用モードを選択できます。通信のしかたにより運用モードを設定してください。

■ 交互通話モード（シンプレックス）

中継器を介さずに直接トランシーバー同士で通信するモードです。20チャンネルに対応し、従来の9チャンネルと11チャンネルのどちらも使用できます。

■ 中継器アクセスモード（セミデュプレックス）

別売品の中継器を介して通信するモードです。安定して通話できる範囲が広がります。27チャンネルに対応し、従来の9チャンネルと18チャンネルのどちらも使用できます。

1 【**⏻**】を押し、一度電源をOFFにする

2 【**▶**】を押しながら【**⏻**】を押し、電源をONする

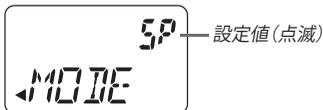
メニューカテゴリー選択画面が表示されます。

3 【**▲**】または【**▼**】を押して「MODE」を選択する



4 【**▶**】を押す

設定変更画面になります。



5 【**▲**】または【**▼**】を押してモードを選択する

設定値	動作
SP	交互通話モードで通信します。
SdP	中継器アクセスモードで通信します。

交互通話モード



中継器アクセスモード



- 中継器アクセスモードに設定すると「中継」が表示されます。

6 【**▶**】を押す

設定を確定して、無線メニューの設定項目選択画面に戻ります。

7 【MENU】を押す

無線メニューモードが終了します。



- 本機の一回の通信時間は、送信・受信合わせて3分間です。
- ローパワー送信での通信では、通話時間の制限はありません。

モニター

電波が弱いときに、スケルチを強制的に開き、信号の状態をモニターすることができます。また、音量を調整するときにも使用できます。

モニターする

1 【◀】を押しながら、【⏻】を押す

スケルチが開いて「受信」が点灯します。



- 信号を受信していないときは「ザー」という雑音がでます。音量レベルを調整するときの目安にもできます。

モニターを終了する

2 電源をOFFにする

スケルチが閉じて、「受信」が消灯します。



- スピーカーマイクrohンを接続している場合は、スピーカーマイクrohンの【1】を押すと、押ししている間スケルチが開きます。

キーロック

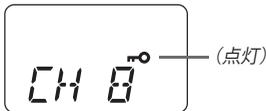
間違えてチャンネル番号やグループ番号を変えないように、キーをロックしておくことができます。

キーロックをする

1 一度電源をOFFにする

2 【▼】を押しながら、【⏻】を押して電源をONにする

キーロックが動作します。キーロック中は「」が点灯します。



キーロックを解除する

1 一度電源をOFFにする

2 【▲】を押しながら、【⏻】を押して電源をONにする

キーロックが解除され、「」が消灯します。

キーロック中でも下記のキー操作はできます。

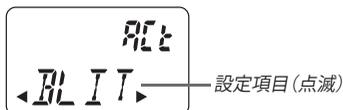
- 【⏻】キー (電源ON/OFF)
- 【▼】+【⏻】キー (キーロック解除)
- 【▲】+【▼】+【⏻】キー (機能リセット)
- 【▲】+【STOP】+【⏻】キー (メッセージリセット)
- 【▲】+【▼】+【STOP】+【⏻】キー (オールリセット)

表示に関する設定

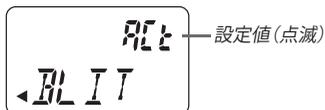
バックライト設定

表示部照明の点灯条件を設定します。

- 機能 (FUNC) メニューの設定項目選択画面にする
《「パワーオンメニューの操作」p.28》
- 【▲】または【▼】を押して「BLIT」を選択する



- 【▶】を押す
設定変更画面になります。



- 【▲】または【▼】を押して、設定値を選択する

設定値	動作
oFF	バックライトは常に消灯します。
ACt	キーを操作したときにバックライトが5秒間点灯します。
on	バックライトが常に点灯します。

- 【▶】を押す
設定を確定して、機能メニューの設定項目選択画面に戻ります。

チャンネル非表示設定

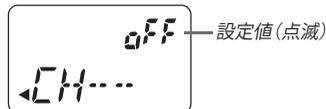
チャンネル番号やグループ番号を表示させない設定です。

- この機能を「on」に設定している場合は、チャンネルを切り替えると、切り替えたチャンネルを2秒間表示します。
電源をONにした時も現在のチャンネルを2秒間表示します。

- 機能 (FUNC) メニューの設定項目選択画面にする
《「パワーオンメニューの操作」p.28》
- 【▲】または【▼】を押して「CH--」を選択する



- 【▶】を押す
設定変更画面になります。



- 【▲】または【▼】を押して、設定値を選択する

設定値	動作
oFF	チャンネルを表示します。
on	チャンネルが非表示になります。

- 【▶】を押す
設定を確定して、機能メニューの設定項目選択画面に戻ります。

音に関する設定

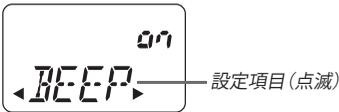
ビーブ音設定

キーを操作したときに鳴る確認音をビーブ音といいます。この機能を「oFF」に設定すると、このビーブ音を鳴らさないようにできます。

1 機能(FUNC)メニューの設定項目選択画面にする

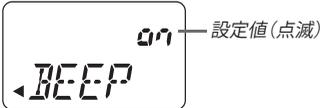
《「パワーオンメニューの操作」p.28》

2 【▲】または【▼】を押して「BEEP」を選択する



3 【▶】を押す

設定変更画面になります。



4 【▲】または【▼】を押して、設定値を選択する

設定値	動作
oFF	ビーブ音は鳴りません。
on	ビーブ音が鳴ります。

5 【▶】を押す

設定を確定して、機能メニューの設定項目選択画面に戻ります。



- 以下の警告音、予告音などはビーブ音設定を「oFF」に設定しても鳴ります。
 - ・送信禁止音
 - ・通知トーン

スケルチレベル設定

スケルチ(雑音消去回路)が解除(開く)されるレベルを設定します。スケルチレベルを下げると弱い電波でも受信しやすくなりますが、雑音(“ザー”という雑音)が多くなります。逆に、スケルチレベルを上げると雑音は少なくなりますが、強い電波しか受信しなくなります。

1 無線(TRXR)メニューの設定項目選択画面にする

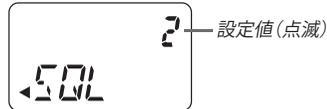
《「パワーメニューの操作」p.28》

2 【▲】または【▼】を押して「SQL」を選択する



3 【▶】を押す

設定変更画面になります。



4 【▲】または【▼】を押して、設定値を選択する

設定値	動作
oFF	常に受信状態になります(常時モニター)。
1/2/3	数値を下げると、弱い信号でも受信状態になります。数値を上げると、強い信号のみ受信状態になります。

5 【▶】を押す

設定を確定して、無線メニューの設定項目選択画面に戻ります。

スピーカー出力タイプ設定

本機のスピーカーから出力される音声を制限する機能です。「ACT」に設定すると受信音と接点入力送信内容は出力されません。

1 機能(FUNC)メニューの設定項目選択画面にする

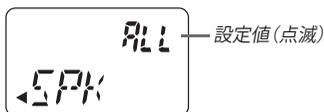
《「パワーオンメニューの操作」p.28》

2 【▲】または【▼】を押して「SPK」を選択する



3 【▶】を押す

設定変更画面になります。



4 【▲】または【▼】を押して、設定値を選択する

設定値	動作
ALL	操作音・受信音、接点入力送信内容を出力します。
ACT	操作音のみを出力します。

5 【▶】を押す

設定を確定して、機能メニューの設定項目選択画面に戻ります。



- 以下の警告音、予告音などは「ACT」に設定しても鳴ります。
 - ・送信禁止音
- メッセージメニューの録音内容の確認では音声を出力します。
- 通知トーン設定《p.38》と優先通知トーン設定《p.38》の設定時は、選択中のトーンが鳴ります。
- ビープ音設定《p.33》を「OFF」に設定している場合は、操作音は鳴りません。

送信に関する設定

コンパンダー設定

雑音を抑えて、音声のみを明瞭にする機能です。使用する場所の周りが騒がしく、音声聞き取りにくい場合に設定します。この機能を使用するには、送信局側と受信局側双方がこの機能を設定する必要があります。

1 無線(TXRX)メニューの設定項目選択画面にする

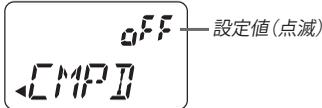
《「パワーオンメニューの操作」p.28》

2 【▲】または【▼】を押して「CMPD」を選択する



3 【▶】を押す

設定変更画面になります。



4 【▲】または【▼】を押して、設定値を選択する

設定値	動作
oFF	コンパンダーは動作しません。
on	コンパンダーが動作します。

5 【▶】を押す

設定を確定して、無線メニューの設定項目選択画面に戻ります。

送信パワー設定

中継器アクセスモードの1ch～18chバンドでは、送信出力を下げても連続送信することができません。「L」に設定すると送信がローパワーの約1mWになり、「H」に設定に戻ると送信がハイパワーの約10mWになります。

1 無線(TXRX)メニューの設定項目選択画面にする

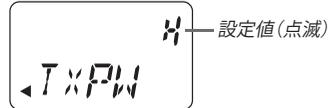
《「パワーオンメニューの操作」p.28》

2 【▲】または【▼】を押して「TXPW」を選択する



3 【▶】を押す

設定変更画面になります。



4 【▲】または【▼】を押して、設定値を選択する

設定値	動作
L	送信出力を約1mWにします。
H	送信出力を約10mWにします。

5 【▶】を押す

設定を確定して、無線メニューの設定項目選択画面に戻ります。



- 中継器アクセスモードのh1ch～h9chやシンプレックスモードでは送信出力を下げることはできません。
- 中継器もローパワー設定にすることで、3分間の通信制限がなくなります。

接点メニュー

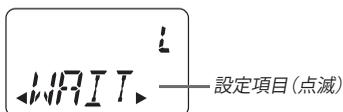
再生開始待ち時間設定

トランシーバーから再生するメッセージの頭切れを改善する機能です。メッセージが頭切れする場合に、中または大に設定することで、メッセージ再生を改善します。

1 接点(MSG)メニューの設定項目選択画面にする

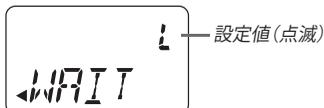
《「パワーオンメニューの操作」p.28》

2 【▲】または【▼】を押して「WAIT」を選択する



3 【▶】を押す

設定変更画面になります。



4 【▲】または【▼】を押して、設定値を選択する

設定値	動作
L	再生待ち時間小
m	再生待ち時間中
H	再生待ち時間大

5 【▶】を押す

設定を確定して、接点メニューの設定項目選択画面に戻ります。

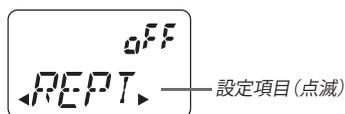
繰り返し再生回数設定

同じメッセージを繰り返し再生して、通報を聞き逃さないようにする機能です。設定した回数、メッセージをリピートします。

1 接点(MSG)メニューの設定項目選択画面にする

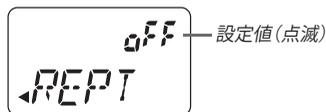
《「パワーオンメニューの操作」p.28》

2 【▲】または【▼】を押して「REPT」を選択する



3 【▶】を押す

設定変更画面になります。



4 【▲】または【▼】を押して、設定値を選択する

設定値	動作
OFF	メッセージは繰り返しません。
1/2/3/4	設定した回数、同じメッセージを繰り返します。

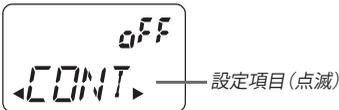
5 【▶】を押す

設定を確定して、接点メニューの設定項目選択画面に戻ります。

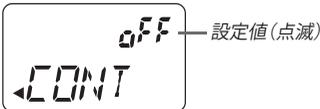
入力継続判定時間設定

継続した接点入力がある場合に、入力を保持していることをチェックする機能です。「15」に設定すると、メッセージ再生終了の15秒後に入力チェックを行います。

- 1 接点(MSG)メニューの設定項目選択画面にする
《「パワーオンメニューの操作」p.28》
- 2 【▲】または【▼】を押して「CONT」を選択する



- 3 【▶】を押す
設定変更画面になります。



- 4 【▲】または【▼】を押して、設定値を選択する

設定値	動作
oFF	入力保持チェックを行いません
15/30/ 60/90/	設定した秒数が経過した後、入力チェックを行います。

- 5 【▶】を押す
設定を確定して、接点メニューの設定項目選択画面に戻ります。

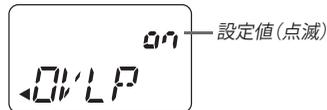
重複入力許可設定

再生中のメッセージと同じポートに入力がある場合に、入力を許可する機能です。「oFF」に設定すると再生中の入力を禁止します。

- 1 接点(MSG)メニューの設定項目選択画面にする
《「パワーオンメニューの操作」p.28》
- 2 【▲】または【▼】を押して「OVLP」を選択する



- 3 【▶】を押す
設定変更画面になります。



- 4 【▲】または【▼】を押して、設定値を選択する

設定値	動作
oFF	重複入力を禁止します。
on	重複入力を許可します。

- 5 【▶】を押す
設定を確定して、接点メニューの設定項目選択画面に戻ります。



- 「oFF」に設定すると、メッセージ再生中、同じポートからの入力は無効になり、再生終了後に入力を受け付けます。

通知トーン設定

メッセージ再生の前にトーンを鳴らして通知を知らせる機能です。トーンを設定すると、メッセージを再生する前に設定した通知トーンが鳴ります。

1 接点(MSG)メニューの設定項目選択画面にする

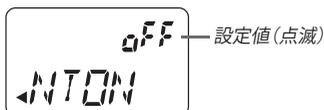
《「パワーオンメニューの操作」p.28》

2 【▲】または【▼】を押して「NTON」を選択する



3 【▶】を押す

設定変更画面になります。



4 【▲】または【▼】を押して、設定値を選択する

設定値	動作
oFF	通知トーンは鳴りません。
1 ~ 6	設定した通知トーンが鳴ります。

5 【▶】を押す

設定を確定して、接点メニューの設定項目選択画面に戻ります。

- 「1 ~ 6」を選択した場合は、トーンの確認音が1回鳴ります。
- スピーカー・マイクロホンでの送信は、通知トーンは鳴りません。
- 繰り返し再生回数設定《p.36》を設定している場合は、通知トーンは1回目の再生前で鳴ります。

優先ポート設定

優先してメッセージ再生を行うポートを割り当てる機能です。「on」に設定すると、複数のポートに入力があつた場合に、再生中メッセージが終了した後、優先ポート（ポートNo.1）のメッセージが再生します。

1 接点(MSG)メニューの設定項目選択画面にする

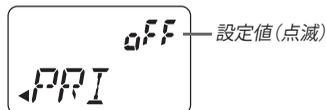
《「パワーオンメニューの操作」p.28》

2 【▲】または【▼】を押して「PRI」を選択する



3 【▶】を押す

設定変更画面になります。



4 【▲】または【▼】を押して、設定値を選択する

設定値	動作
oFF	優先ポートは設定しません。
on	優先ポート（ポートNo.1）を設定します。
GRP	グループ番号1、2、3の順で優先になります。

グループ番号	属するポート番号
1	ポートNo.1 ~ 10
2	ポートNo.11 ~ 20
3	ポートNo.21 ~ 30

5 【▶】を押す

設定を確定して、接点メニューの設定項目選択画面に戻ります。

- 「GRP」は、VGS-830Gのみで設定できます。
- 「GRP」に設定したときの同じグループ内の再生順番は入力順になります。

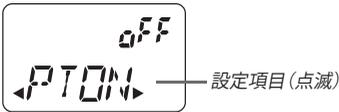
優先通知トーン設定

優先ポートの入力があつた場合に通知トーンで知らせる機能です。優先ポートのメッセージを再生する前に、設定した通知トーンが鳴ります。

1 接点(MSG)メニューの設定項目選択画面にする

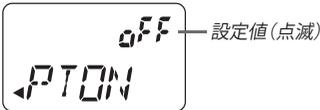
《「パワーオンメニューの操作」p.28》

2 【▲】または【▼】を押して「PTON」を選択する



3 【▶】を押す

設定変更画面になります。



4 【▲】または【▼】を押して、設定値を選択する

設定値	動作
OFF	通知トーンは鳴りません。
1～6	設定した通知トーンが鳴ります。

5 【▶】を押す

設定を確定して、接点メニューの設定項目選択画面に戻ります。



- 「1～6」を選択した場合は、トーンの確認音が1回鳴ります。
- 繰り返し再生回数設定《p.36》を設定している場合は、通知トーンは1回目の再生前で鳴ります。
- 優先ポート設定《p.38》を「OFF」に設定している場合は、優先通知トーンは鳴りません。
- 優先ポート設定《p.38》で「GRP」を設定している場合は、グループ番号1に属するポートすべての再生前に通知トーンが鳴ります。
- 通知トーン設定《p.38》と違うトーンをすることで、優先通知の識別をすることができます。

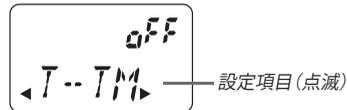
連続送信時間設定

連続送信時間を制限する機能です。「30」に設定すると、30秒間送信した後、送信を中断します。送信を中断する時間は、送信中断時間設定《p.40》で設定します。

1 接点(MSG)メニューの設定項目選択画面にする

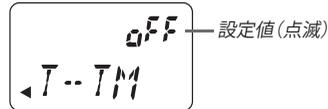
《「パワーオンメニューの操作」p.28》

2 【▲】または【▼】を押して「T-TM」を選択する



3 【▶】を押す

設定変更画面になります。



4 【▲】または【▼】を押して、設定値を選択する

設定値	動作
OFF	制限時間はありません。
30/60/ 90/120/	設定した秒数が経過すると、送信を中断します。

5 【▶】を押す

設定を確定して、接点メニューの設定項目選択画面に戻ります。



- 設定した時間が経過する前にスピーカーマイクホンでの入力があつた場合は、制限時間は解除されます。

送信中断時間設定

連続送信時間設定《p.39》によって停止した後、送信の中断時間を設定する機能です。「10」に設定すると 10 秒間送信を中断します。

1 接点(MSG)メニューの設定項目選択画面にする

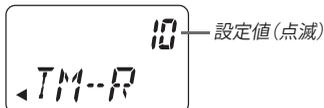
《「パワーオンメニューの操作」p.28》

2 【▲】または【▼】を押して「TM-R」を選択する



3 【▶】を押す

設定変更画面になります。



4 【▲】または【▼】を押して、設定値を選択する

設定値	動作
5/10/ 30/60/	設定した秒数だけ送信を中断します。

5 【▶】を押す

設定を確定して、接点メニューの設定項目選択画面に戻ります。

 ●連続送信時間設定《p.39》を「OFF」に設定している場合は、送信中断時間の設定はできません。

ランダムアクセス送信設定

本機を複数台で運用したとき、送信のタイミングを重なりにくくする機能です。

1 接点(MSG)メニューの設定項目選択画面にする

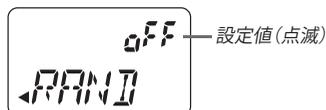
《「パワーオンメニューの操作」p.28》

2 【▲】または【▼】を押して「RAND」を選択する



3 【▶】を押す

設定変更画面になります。



4 【▲】または【▼】を押して、設定値を選択する

設定値	動作
OFF	入力を受け付けると送信を開始します。
on	ランダムに送信開始時間を決定します。

5 【▶】を押す

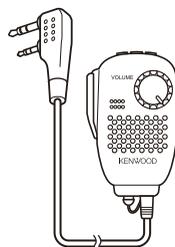
設定を確定して、接点メニューの設定項目選択画面に戻ります。

 ●本機を同一チャンネルで複数台運用する場合は、「on」に設定することをおすすめします。

オプションについて

● スピーカーマイクロホン (SMC-34)

本機にオプションのスピーカーマイクロホン (SMC-34) を取り付けることにより、本機から直接、特定小電力トランシーバーとの交信が可能になります。



SMC-34

※ オプション品のご購入については、お買い求めの販売元にご相談ください。

関連製品について

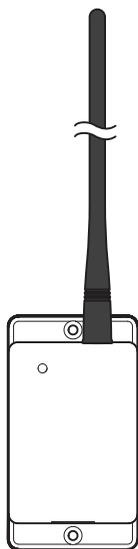
● 特定小電力無線ユニット (TCB-U830TR)

本機と接続し、特定小電力無線を利用した無線通信を行うことができます。

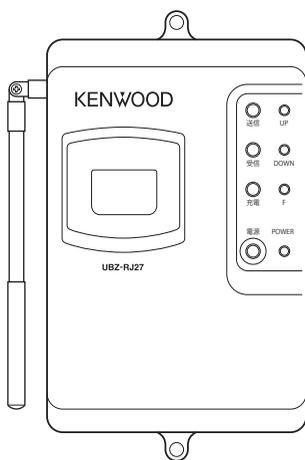
● 特定小電力中継器 (UBZ-RJ27)

本機と併せて設置・運用することで、中継器を介して通信することができます。安定して通信できる範囲が広がります。

※ 関連製品のご購入については、お買い求めの販売元にご相談ください。



TCB-U830TR



UBZ-RJ27

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に下の表を確認してください。該当する症状がない場合や異常を解決できない場合は、機能リセットしてください。

共通

症 状	原 因	処 置	参照ページ
電源が入らない	本機の電源接続端子に AC アダプターが接続されていない	本機の電源接続端子に AC アダプターをしっかりと接続する	9
	AC アダプターが AC コンセントに接続されていない	AC アダプターを AC コンセントに接続する	9
表示部が表示しない	本機の電源が OFF になっている	本機の電源を ON にする	15
	本機の電源が OFF になっている	本機の電源を ON にする	15
キー操作できない	キーロック設定が ON になっている	キーロック設定を解除する	31
	本機と無線ユニットが正しく接続されていない	本機と無線ユニットを正しく接続する	8、9
表示部の照明が消えない	バックライト設定が「on」になっている	バックライト設定を「Act」または「off」に設定する	32
録音できない	本機の電源が OFF になっている	本機の電源を ON にする	15
	本機に録音用マイクが接続されていない	本機に録音用マイクを接続する	18
	メッセージメニューモードになっていない	メッセージメニューモードにする	18
	選択したポートにメッセージが録音されている	メッセージを消去してから録音する	18、19
録音内容を確認できない	本機にメッセージが録音されていない	本機にメッセージを録音する	18
	メッセージメニューモードになっていない	メッセージメニューモードにする	18
「ERR」が表示している	本機と無線ユニットが正しく接続されていない	本機と無線ユニットを正しく接続する	9、16
「UL」が表示している	無線ユニットが故障している	お買い上げの販売元にお問い合わせください	—
何も聞こえないのに「受信」が点灯する	グループ番号が設定された状態でスケルチ設定が OFF になっている	スケルチレベルを 1～3 に設定する	33
	近隣で同じチャンネルをグループ違いで使用している	チャンネルを変更するか、「受信」が消えるまで待つ	—

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に下の表を確認してください。該当する症状がない場合や異常を解決できない場合は、機能リセットしてください。

共通

症状	原因	処置	参照ページ
再生しない (トランスシーバーで受信 しない)	本機の電源が OFF になっている	本機の電源を ON にする	15
	本機と無線ユニットが正しく接続されていない	本機と無線ユニットを正しく接続する	8、9
	本機の接点入力端子に接点入力機器が接続されていない	本機の接点入力端子に接点入力機器を接続する	8、9
	接続ケーブルが破損している	接続ケーブルを正常なものに交換する	8、9
	本機にメッセージが録音されていない	本機にメッセージを録音する	18
	受信中になっている(「受信」が点灯している)	チャンネルを変更するか、「受信」が消えるまで待つ	15
	電子機器による電波障害を受けている	本機を電子機器から離すか、離れた場所に設置する	8、9
	トランスシーバーの電源が入っていない	トランスシーバーの電源を入れる	—
	本機とトランスシーバーのチャンネルがグループ番号が違う	本機とトランスシーバーのチャンネル、グループ番号を同じ設定にする	15、16
	本機とトランスシーバーの運用モードが違う	本機とトランスシーバーの運用モードを同じに設定する	8、9
本機からの電波が届いていない	通信できる距離まで近づけて設置する	8、9	
メッセージが頭切れする	再生開始待ち時間設定が「L」に設定されている	再生開始待ち時間設定を「m」または「H」に設定する	36
メッセージが繰り返されない	繰り返し再生回数設定が「OFF」になっている	繰り返し再生回数設定を「1～4」に設定する	36
通知トーンが鳴らない	通知トーン設定が「OFF」になっている	通知トーン設定を「1～6」に設定する	38、39
メッセージが聞き取りにくい	メッセージの音量が小さい	メッセージを録音しなおす	18、19
	トランスシーバーの音量が小さい	トランスシーバーの音量を大きくする	—
	本機とトランスシーバーいずれか一方のボイススクランブル設定が ON になっている	本機とトランスシーバーともにボイススクランブル設定を ON または OFF の同じ設定にする	17

中継器を使用している場合

症状	原因	処置	参照ページ
中継器にアクセスできない	運用モードが中継器アクセスモードになっていない	運用モードを中継器アクセスモードに設定する	30
	チャンネル番号、グループ番号が中継器の番号と違う	チャンネル番号、グループ番号を中継器の番号と合わせる	15、16
	中継器との距離が離れすぎている	通信できる距離まで近づけて設置する	—

機能リセット

機能リセットをおこなうと、簡易メニューおよびパワーオンメニューで設定されている内容はすべて初期の設定状態に戻ります。

1 一度電源をOFFにする

2 **【▲】**と**【▼】**を押しながら、**【⏻】**を押して電源をONにする

表示が全点灯します。



●全点灯時に本機では使用しないアイコンも表示されます。

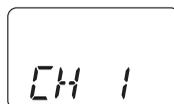
3 **【⏻】**、**【▲】**、**【▼】**、のいずれかのキーを離す

「FUNC」と表示されます。



4 **【▶】**を押す

機能リセットして、待ち受け状態になります。



●**【▶】**以外のキーを押した場合は、リセットしないで、待ち受け状態になります。



●機能リセットをおこなうと、設定されているチャンネル、音量も初期の設定状態に戻ります。

メッセージリセット

メッセージリセットをおこなうと、メッセージメニューで録音した内容はすべて初期の状態に戻ります。

1 一度電源をOFFにする

2 【▲】と【STOP】を押しながら、【】を押しして電源をONにする

表示が全点灯します。



- 全点灯時に本機では使用しないアイコンも表示されます。

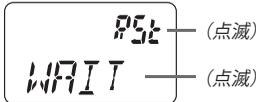
3 【▲】、【STOP】、【】のいずれかのキーを離す

メッセージリセット確認状態になります。



4 【▶】を押す

メッセージリセットが開始し、リセット実行中は「WAIT」と表示されます。



- 【▶】以外のキーを押した場合は、メッセージリセットしないで、待ち受け状態になります。



- メッセージリセット実行中は、すべてのキー操作が無効になります。

オールリセット

オールリセットをおこなうと、設定されている内容はすべて初期の設定状態に戻ります。

1 一度電源をOFFにする

2 【▲】と【▼】と【STOP】を押しながら、【】を押しして電源をONにする

表示が全点灯します。



- 全点灯時に本機では使用しないアイコンも表示されます。

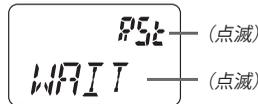
3 【】、【▲】、【▼】、【STOP】のいずれかのキーを離す

オールリセット確認状態になります。



4 【▶】を押す

オールリセットが開始し、リセット実行中は「WAIT」と表示されます。



- 【▶】以外のキーを押した場合は、オールリセットしないで、待ち受け状態になります。



- オールリセット実行中は、すべてのキー操作が無効になります。
- オールリセットをおこなうと、メッセージメニューで録音した内容も初期の状態に戻ります。

仕様

定格

		VGS-830	VGS-830G
接点入力数		10 ポート	30 ポート
録音メッセージ		最大 15 秒 /1 件	
接点对応方式		無電圧 a 接点 / オープンコレクタ	
防塵 / 防水		IP-5X 相当 ※1	
電源電圧		AC アダプター (IN_AC : 100V/OUT_DC : 9V)	
消費電流 (無線ユニット接続時) ※2		送信時 最大 150mA 受信時 (VOL 8) 最大 180mA ※3 待受時 最大 155mA 待機時 最大 1mA	
低周波出力 ※4	SP/MIC 端子	90mW 以上 (VOL 14)	
変調入力 ※5	SP/MIC 端子	約 5mVrms	
録音マイク端子		3.5 φ ジャック ※6	
使用温度範囲		- 10°C ~ + 50°C	
サイズ (H × W × D) ※突起物除く		175 × 125 × 75 mm	250 × 175 × 75 mm
重量		約 460g	約 770g

※1 IP-5X 相当 (オーム電機製 OA-W16 使用時。グロメット穴あけ時は防塵保証外。)

※2 無線仕様に関する定格は、無線ユニット (TCB-U830TR) の取扱説明書をご覧ください。

※3 その他条件 : 変調度 1.5 kHz、AF 1kHz。VOL 設定によって最大消費電流は変動します。

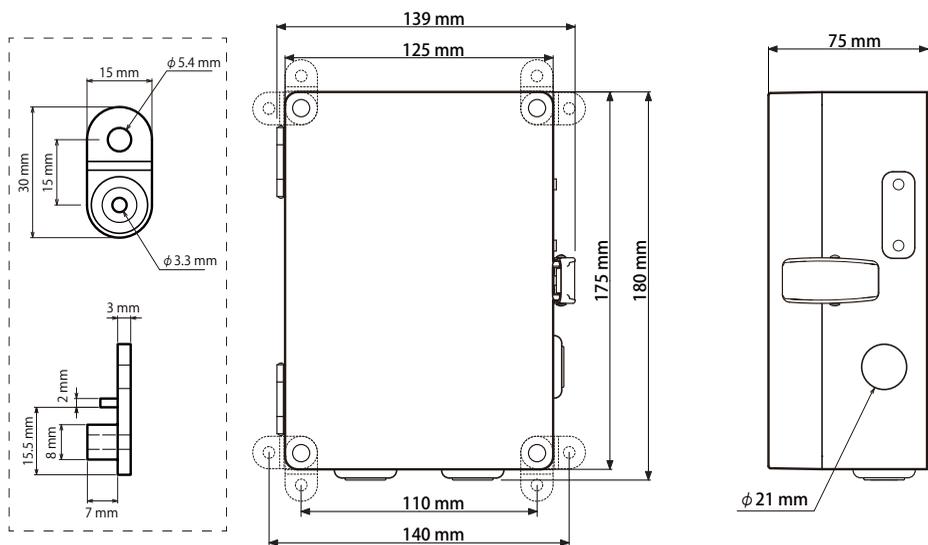
※4 その他条件 : 16 Ω 負荷、変調度 1.5 kHz、AF 1kHz。16Ω 未満の負荷で使用すると、故障の原因となります。

※5 その他条件 : 入力インピーダンス 1.8 kΩ、変調度 1.5 kHz、AF 1kHz。

※6 推奨録音用マイク (BUFFALO 製 : BSHSM06WH、ELECOM 製 : MS-STM95)

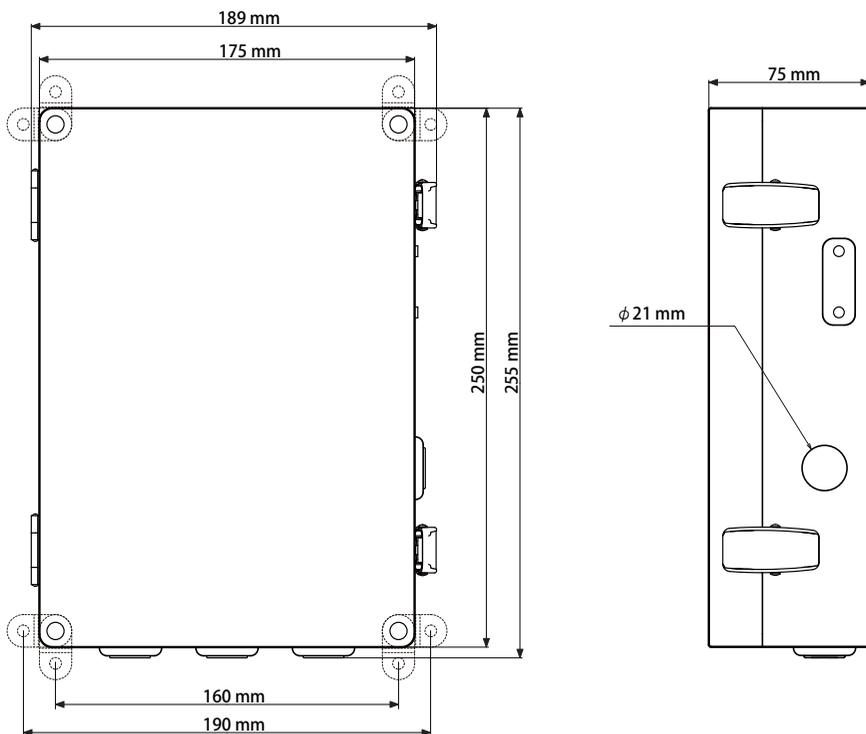
※ 仕様は予告なく変更することがあります。

寸法図 (VGS-830)



その他

寸法図 (VGS-830G)



株式会社 JVCケンウッド山形

●製造元：株式会社 JVC ケンウッド山形
〒 997-0011 山形県鶴岡市宝田 1-15-80
<http://yk.kenwood.com/>

●営業窓口：株式会社 JVC ケンウッド山形
TEL (0235) 25-4002
FAX (0235) 25-0560